

## 新型コロナ感染クラスター解除のご報告と今後の診療活動について

8月はCOVID-19感染の第7波襲来において、当院の入院患者様、病院職員の陽性者数が徐々に増加し、8月15日時点では急性期病棟、地域包括ケア病棟ともに保健所へクラスター発生を報告する状況となりました。その後、病院全体をあげて集中的に感染対策に取り組むことで徐々に収束に向かい8月31日の制限病室解除以降、新規の院内発症は認めておりません。幸いなことにCOVID-19感染症による重症化例もありませんでした。

このクラスター発生期間中の診療において、新規入院、重症救急受け入れを制限せざるをえず、また予定手術や検査の延期など、入院中の患者様、入院予定の患者様、ご家族様および地域の住民の皆様方には多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

今後につきましては通常の診療体制に可及的速やかに戻していく予定ですが、診療活動の再開を急ぐあまり繰り返しのクラスター発生や職員の過剰労働による安全管理の低下を招くことがあってはなりません。COVID-19感染症についてはこれからも変異を繰り返しつつ、第8波、第9波を迎えるであろうといわれており、今回のように著しく感染性の強い流行性疾患が蔓延すると、救急搬送患者様や予定入院患者様に感染症陽性者、濃厚接触者が一定数紛れるのは避けられず、救急・外来診療において患者－スタッフ間感染を防ぎ、入院においても感染症陽性者と陰性者を確実に隔離できる手順と体制で臨む必要があります。その感染対策として病室のゾーニング（感染症の有無によつての病室区分）を行うと、病院に収容可能な入院数は感染による隔離を要しない場合に比べ減少し、従来と同じペースでの医療提供は困難です。また感染症の陽性者と陰性者が混在しないよう、その識別を迅速に行い、陰性患者に対してはもちろん、陽性者に対しても必要な医療を適切に提供できる診療体制づくりはすべての医療機関においてのこれからの課題です。

当院におきましてもその課題を克服しながら、地域の皆様方に対して安全かつ安心できる医療を提供できるよう努力していく所存でありますので、皆様方のご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

令和4年9月

社会医療法人さくら会さくら会病院  
病院長 福間 淳